

# 外国語活動 指導のためのヒント集



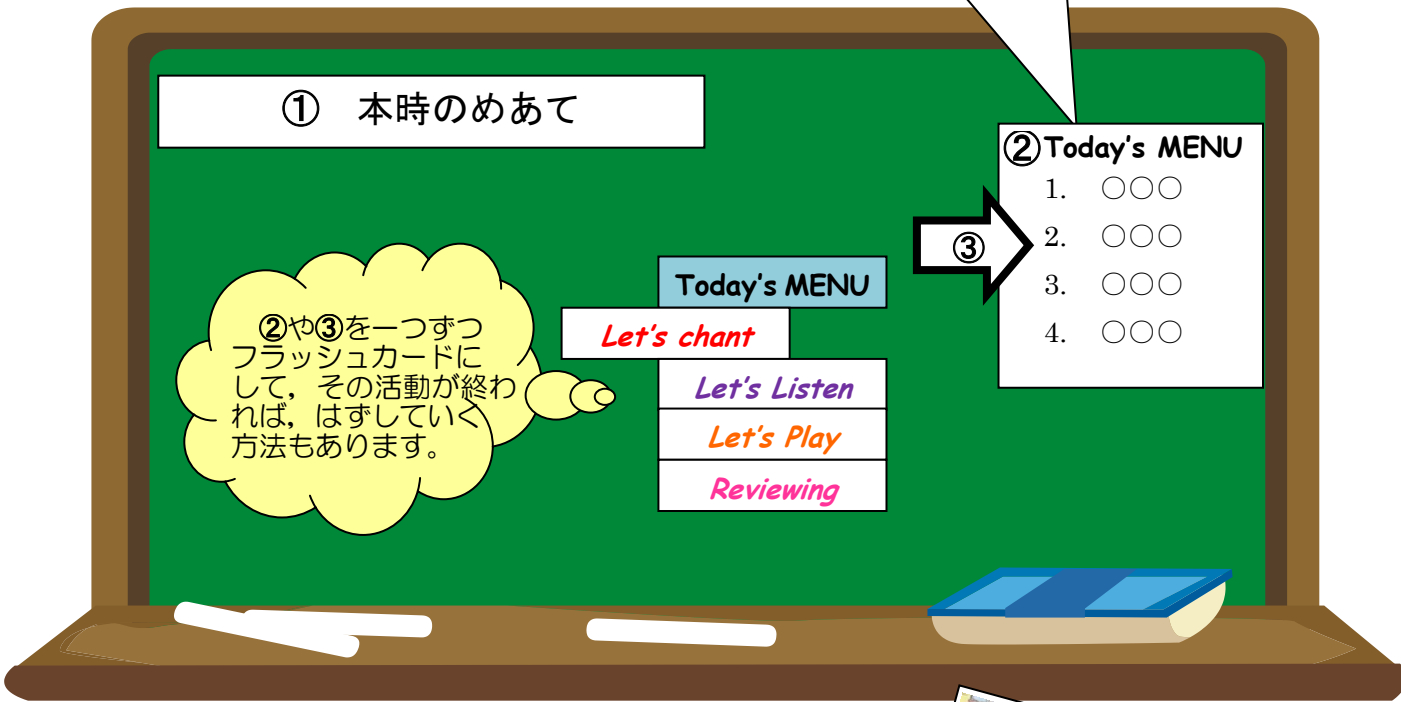
# 外国語活動の授業開始の前に

## ① 黒板・電子黒板など

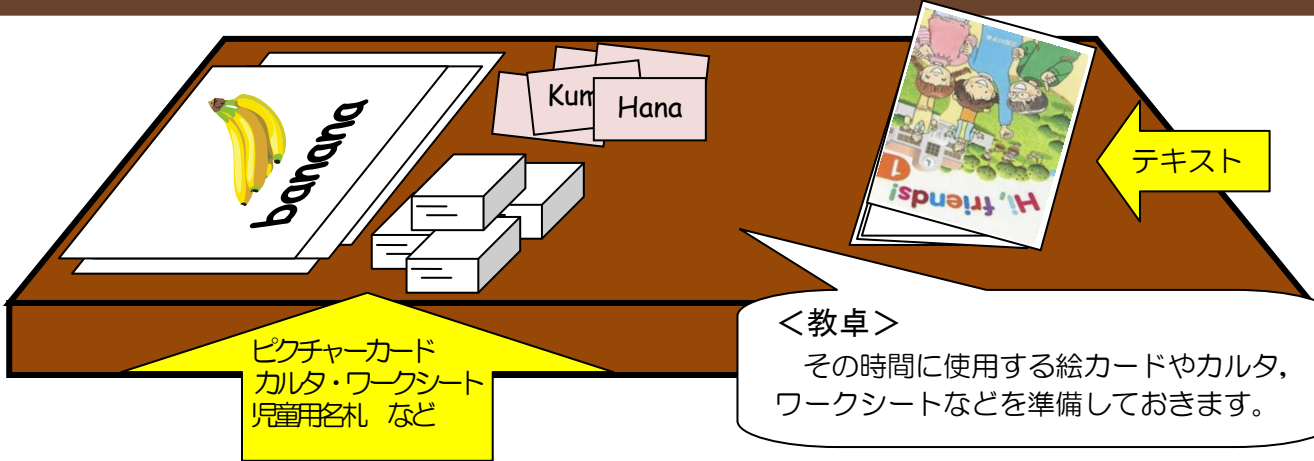


＜電子黒板機能付き大型テレビ＞  
授業の中で使えるように、“Hi, friends!”のデジタル教材を確認しておきます。たくさん機能があります。授業に必要な絵カードもプリントアウトできます。

＜黒板＞  
① 本時のめあてを示します。  
② 1時間の流れをおおまかに示します。  
③ いま、行っている活動はどれかを、矢印で示すとわかりやすくなります。



②や③を一つずつフラッシュカードにして、その活動が終われば、はずしていく方法もあります。

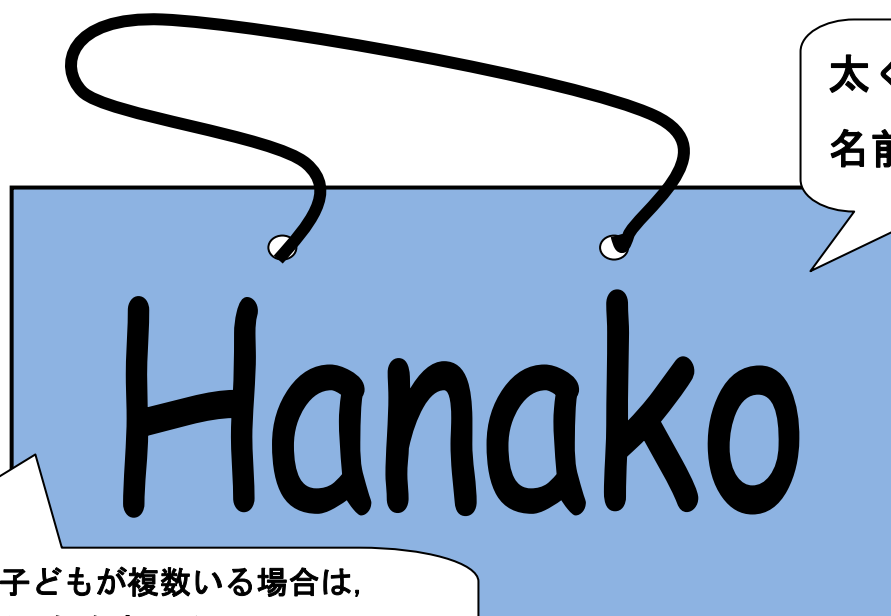


## ② 名札

外国語活動専用の名札を、4月当初に作ります。

授業の初めに、担任やALTから直接名前を呼んで名札を渡してもらったり、児童同士が挨拶をしながら、名札を配布してコミュニケーションを図ったりする活動に利用できます。

また、小学校外国語活動では基本的に文字を扱いませんが、ローマ字は小学校3年生の国語科で、既に学習しています。先生が一人一人の名前を書いて作成したり、パソコンで作成したりします。名札を作っておくことで、それを見本に、児童が外国語活動で使用するテキストやワークシートに、自分の名前を書くことに利用できます。



太く、大きく、  
名前のみ

同じ名前の子どもが複数いる場合は、

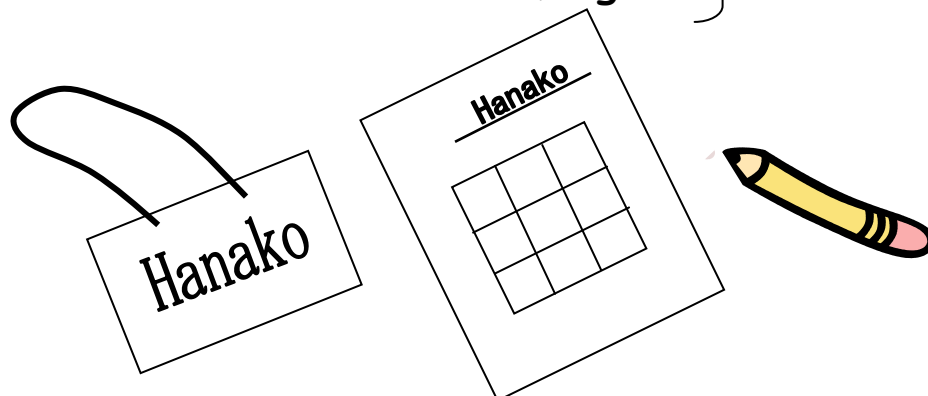
- ① 文字や台紙の色を変える
- ② 名字のイニシャルを入れる

などの工夫を。

※ 名札やカードをパソコンで作成する際には、  
フォントに注意！

MS 明朝	→	a, g
MS ゴシック	→	a, g
Comic sans MS	→	a, g



子どもたちにとって  
使いやすいものは？



# 外国語活動の単元の流れ

単元によって多少の違いはありますが、外国語活動の授業は原則として **1 単元 4 時間** で構成されています。以下のようなイメージで、内容を構成します。

## <単元のイメージ>

時間	内 容
①	新しい語彙や表現と <b>出会う</b>
②	新しい語彙や表現に  <b>聞く活動</b>
③	新しい語彙や表現に  <b>言う活動</b>
④	<b>★ 単元のゴール ★</b> 慣れ親しんだ語彙や表現を使って <b>コミュニケーション活動</b> を行う

同じ語彙・表現に  
繰り返し、十分慣れ親しむ

「慣れ親しむ」場面では、ゲームをたくさん行いますが、ゲームは「**慣れ親しむ**」の手段として活用します。何を目的にそのゲームを行うのか、指導者が意識しておくことが大切です。



### <表現・語彙に慣れ親しむ活動例 1 歌>

子どもたちは、歌がとても好きです。

その単元で使用する語彙や表現に合う歌があれば、活用したいものです。

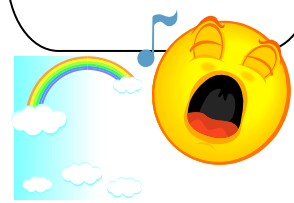
“I Can Sing a Rainbow.”の歌は、“Hi, friends!1” Lesson 5 で色を扱う際に使用できます。

*Red and Yellow and Pink and Green,  
Purple and Orange and Blue.  
I can sing a rainbow, sing a rainbow, sing a rainbow, too.  
Listen with your eyes. Listen with your eyes.  
And sing everything you see.  
You can sing a rainbow, sing a rainbow, sing along with me.*

*Red and Yellow and Pink and Green,  
Purple and Orange and Blue.  
Now we can sing a rainbow, sing a rainbow, sing a rainbow, too.  
Listen with your eyes. Listen with your eyes.  
And sing everything you see.  
You can sing a rainbow, sing a rainbow, sing along with me.*

*Red and yellow and pink and green,  
Purple and orange and blue.  
Now I can sing a rainbow, sing a rainbow, sing a rainbow, too.*

歌は、全てを使用する必要はありません。子どもたちに聞かせたい部分だけを取り上げましょう。この歌を色の指導で使用するのであれば、太枠で囲った部分だけを聴くだけでOKです。



<表現・語彙に慣れ親しむ活動例2 チャンツ>

チャンツは、一定のリズムに乗せて英文を繰り返し言うものです。子どもたちが表現に慣れ親しむために、飽きずに繰り返し取り組める工夫をしたいものです。“Hi, friends!1” Lesson3 のチャンツを例にして、いくつかの工夫を紹介します。

Dogs, dogs, how many dogs?  
1, 2, 3, 4, 5 dogs.  
Cats, cats, how many cats?  
1, 2, 3, 4, 5 cats.  
Balls, balls, how many balls?  
1, 2, 3, 4, 5 balls.  
6, 7, 8, 9, 10 balls.

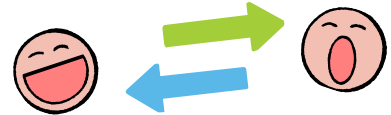
★工夫例(1) 役割を分担して言う。

A : 担任 ⇔ B : 子ども

A : 子ども ⇔ B : 子ども

A: Dogs, dogs, how many dogs?

B: 1, 2, 3, 4, 5 dogs.



★工夫例(2) 語彙を入れ替える

Pencils, pencils, how many pencils? …

Caps, caps, how many caps? … etc.

★工夫例(3) 速さを変える ゆっくり ⇨ 速く

様々なバリエーションで繰り返しチャンツを言い、子どもたちが英語のリズムを感じ取れるようにします。

<表現・語彙に慣れ親しむ活動例3 ゲーム>

ゲームをすると、授業が盛り上がるように感じますが、子どもたちは勝敗やポイントにばかりこだわっていませんか。

外国語活動は、「ゲームを楽しむ時間」ではありません。外国語活動では、単元のゴールに設定されたコミュニケーション活動を行うための表現に慣れ親しむことを目的としてゲームを取り入れています。何を目的に、どのゲームを、どのように行うのか、指導者は意識してルールなどを工夫する必要があります。

例えば、同じ「カルタ取りゲーム」でも…

Ex.1) 「聞く」ことに慣れ親しむ「カルタ取りゲーム」



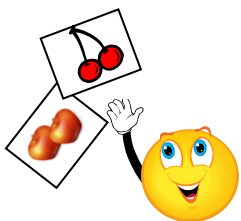
1. 英語の単語を聞く。
2. 聞いた単語のカードを取る。



注意深く聞かないと、カードがとれない…。

「聞きなさい」という指示がなくても、カードを取るために児童は自ずと集中して聞く。

Ex.2) 「言う」ことに慣れ親しむ「カルタ取りゲーム」



1. “What do you like?” と全員で尋ねる。
2. 指導者または代表の児童が “I like apples.” と言って、取るカードを指定する。
3. Apples のカードを取る。

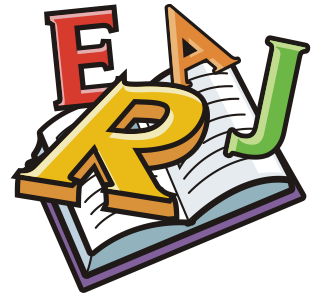
この表現を言わないと、次にどの札を取るのかを伝えてもらえない。

カルタ取りゲームを通して、“What do you like?” という表現を何度も繰り返して言う。

# クラスルーム・イングリッシュを使う

担任の先生が普段使っていない英語を積極的に使う姿は、子どもたちにとって、大きな刺激となります。

たくさん使えなくても、その日に使用するものを決めて、まずはTRYしてみましょう。そして、少しずつ使えるものを増やしていくことを心掛けます。別紙に、3語までで言える「クラスルーム・イングリッシュシート」を作成しました。ご参照ください。



1<sup>st</sup> STEP

Let's try!! ~ほめる・励ます・指示をする~  
Classroom English

使う場面別に示しています。

ほめる・励ます



笑顔で、児童の目を見て大きな声で!

おめでとう	Congratulations.
すばらしい/すごい	Excellent. / Wonderful. / Nice. / Fantastic. / Perfect. / Great. / Super. / Amazing. / Marvelous. / Splendid.
よくできました	Good. / Good job (work). / Well done.
そうです	Yes.
いいですよ	All right. / O.K.
完璧です	Perfect.
天才です	Genius.
おもしろい	Interesting.
それでいいですよ	That's good. / That's right. / Oh, yes.
がんばりましたね	Good try. / Good work. / You did it.
おしい	Close. / Almost.
大丈夫です	No problem. / It's O.K.
心配しないで	Don't worry. / Take it easy.
もう一度がんばって	Try again.

Close の発音注意!  
詳しくは、ALT に!

使う際のちょっとしたコツやヒントが入っています。

このシートを活用し、英語が苦手な教員も少しずつ簡単な英語を使うことができるようになります。複数の小学校で共通したクラスルーム・イングリッシュを使用して指導を行うことにより、一つの中学校に進学する子どもたちに共通した英語を使って授業ができます。また、このシートを中学校と共有することで、子どもが中学校へ進学した際にもこれらの英語を用いて指導を始めることができます。

最初、子どもたちは初めて出会う英語の意味を理解することは難しいかもしれませんが、指導者が英語だけではなく、絵カード・ジェスチャー・表情・視線、また、音声の変化（語尾が上がるか、下がるか…）など、視覚的・聴覚的な情報を加えることで、その英語の意味や指導者の意図がとらえられるようになります。

まずは、一つでも多くのクラスルーム・イングリッシュを使うことを意識して、

**Let's try! You can do it!**